

神戸大学附属中等教育学校
学生・保護者の皆様 各位

平成 30 年 6 月吉日

神戸大学大学院保健学研究科
博士課程前期課程 久司夏井

「脳性麻痺児の居住環境と身体活動量に関する研究」へのご協力をお願い

梅雨の候、皆様におかれましては益々お健やかに過ごしのことと存じます。

私たちは、脳性麻痺のある児童・生徒の居住環境が、日常生活の身体活動量にどのように影響しているのかを調査しております。身体活動量が少ないことで、運動機能や呼吸循環器機能、免疫機能などに様々な影響を及ぼすと言われております。今回の調査は、二軸加速度計を用い、一日の身体活動量を定量的に測定し、子どもたちの身体活動量に影響を与える要因を明らかにすることを目的としています。また、健常児童・生徒でも同様に測定を行い、比較検討することで、脳性麻痺児の活動パターンの特徴をより明確にしたいと考えております。身体活動量測定には、皆さまにご負担のないよう、ゴムベルトに固定した小型加速度計を使用する予定です。

つきましては、ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、本研究の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をご検討お願い申し上げます。

記

1. 研究のねらい

- (ア) 脳性麻痺児の身体活動量の現状を数値的に把握し、必要な支援を考察する。
- (イ) 身体活動量と居住環境の関連を調査し、また健常児と比較することで、脳性麻痺児の身体活動量に影響している要因を明らかにする。
- (ウ) 身体活動量増進のための環境設定を考察する。

2. 調査内容

(ア) 研究対象者：

<年齢> 12歳～18歳（中等教育学校1年生～5年生）

<部活>運動部に所属していない学生

(イ) 調査方法：

調査① 年齢・性別・身長・家族構成・運動習慣を口頭でお聞きします。

調査② 居住環境に関するアンケートを記入していただきます。

調査③ ベルト型の身体活動量計を原則7日間装着していただき、

普段通りに過ごしていただきます。また活動記録表を記入していただきます。

※身体活動量計は通学時間中も装着していただきます。



↑活動量計の装着イメージ（左）、活動量計（右）
※実際には肌着の上、上着の下につけていただけます。

(ウ) 参加者の安全を守るための対策：

身体活動量計の装着が日常生活を制限する場合、直ちに外し、測定を中止することができます。

3. 倫理的配慮

- (ア) 本研究は、神戸大学大学院保健学研究科の倫理委員会の承認を受けております。
- (イ) 研究への参加は任意であり、参加いただかなくても不利益を被ることは一切ございません。
- (ウ) 本研究で得られたデータは、本人とは無関係な番号を付して匿名化します。個人を特定できる情報は、研究者が管理する鍵のかかるところに保管します。
- (エ) 研究結果は、個人情報が出ないようにして、学術的な目的で学会や学術雑誌に公表することがありますが、本研究の目的以外には使用しません。
- (オ) 研究終了後は、研究終了日から5年を経過した日または当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保管した後、記録媒体に保存した個人を特定するデータ等はゼロフォーマットを行い、紙媒体のデータは裁断処理を行うことで破棄します。
- (カ) 本研究の計画や内容についてさらに詳しくお知りになりたい場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。

4. 研究に関する問い合わせ先

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘 7-10-2
神戸大学大学院保健学研究科 地域保健学領域
実施責任者：高田 哲 / 共同研究者：久司 夏井
電話：090-2098-8886 (久司夏井)
メール：natsui1994@gmail.com